

科 目	受 験 生 記 入 欄	
音楽学（音楽学） 2枚のうちの / 枚目	科 専攻	声種： 楽器： 受 験 番 号 番

(ア)
-----

(イ)
-----

以下の5部門の中から2部門を選び、選択した各部門の3問題中2問題について答案を提出しなさい。合計4問題の答案は、必ず1問題ごとに別紙1枚（800字、横書き）を用い、冒頭の二マスに選択した問題の部門と番号を明記すること。

◎ 音楽美学

- 音楽における「ジャンル」を定義し、それに着目することが音楽研究においてどのような意味をもつか論じなさい。
- 音楽を考察する際、「マルチモダリティ multimodality」概念はどのような新たな視座を与えるか。具体例を挙げながら説明しなさい。
- 近世日本の儒学者による音楽研究の背景を論じなさい。

◎ 音楽理論

- 西洋音楽における、古代以来の音律を三つ挙げ、それぞれについて説明しなさい。
- 西アジアにおいて音律を論じた学者を二名挙げて、彼らの業績を西アジア音律論の歴史的展開の中に位置づけなさい。
- 以下の項目から四つを選び、説明しなさい。
 

(1) invertible counterpoint	(2) moment form
(3) perfection/imperfection	(4) musica humana
(5) Stufentheorie	(6) Gioseffo Zarlino, <i>Le istituzioni harmoniche</i>
(7) Heinrich Christoph Koch, <i>Versuch einer Anleitung zur Composition</i>	
(8) modes à transposition limité	

◎ 西洋音楽史

- カール・ダールハウスは『音楽史の基礎概念』（1977; 邦訳 2004）において、「ドキュメント、つまり歴史家にあたえられたデータと、彼がデータから再構築する事実とは区別しなければならない」（傍点原著者）と述べている。この申し立てについて、貴方の考えを具体的に述べなさい。
- 基礎教養としての「音楽」のあり方について、三つの時代を挙げて説明しなさい。
- 18世紀までのヨーロッパにおける公開演奏会の始まりと発展について略述しなさい。

◎ 日本・東洋音楽史

- 次の団体・組織が日本・東洋音楽史上に果たした役割について述べなさい。5問中2問を選択すること。
  - ① サンギート・ナータク・アカデミー
  - ② 大同楽会
  - ③ 東京音楽学校邦楽調査掛

科 目	受 験 生 記 入 欄	
	科 専攻	受 験 番 号
音楽学（音楽学） 2枚のうちの2枚目	声種： 楽器：	番

(ア)

(イ)

- ④ 北京大学音楽研究会
- ⑤ 李王職雅楽部
- 2. 伝統音楽の専門教育を学校で行うことの得失について論じなさい。
- 3. 以下の楽譜から二つを選び、その特徴と音楽史上の意義を論じなさい。
  - ① 『碣石調幽蘭』
  - ② 『新撰楽譜』
  - ③ 『世宗実録楽譜』
  - ④ 『箏曲大意抄』
  - ⑤ 『敦煌琵琶譜』
  - ⑥ 『白石道人歌曲』
  - ⑦ 『平家正節』

◎ 音楽民族学

- 1. 民族音楽学における音および映像のアーカイブの意義と有効性、およびその活用における問題点を具体的に述べなさい。
- 2. 民族音楽学の歴史における植民地主義とその克服について、具体例を挙げて論じなさい。
- 3. 日本社会の多文化化が20世紀以降の日本の音楽文化に与えた影響を具体的に論じなさい。